

フジヨシ浄化槽 FCD-W型

A3型ニューラインナップ

処理方式：固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式

■特長

1. 施工性向上

流入管底がGL-1050まで原水ポンプ槽なしで対応可能 ※1
 ※1 A3型のみ(標準設計 168人まで) B型~G型はGL-600

2. 省スペース

省スペースで施工性が向上 (185人【37m³/日】まで1本槽)
 <設計条件：流入BOD200mg/L、日平均汚水量200L/人・日>

3. 省エネ仕様

大型間欠定量移送装置の使用により機器類を削減し省エネ化

4. 容易な維持管理

固液分離方式と少ない機器で維持管理を簡素化

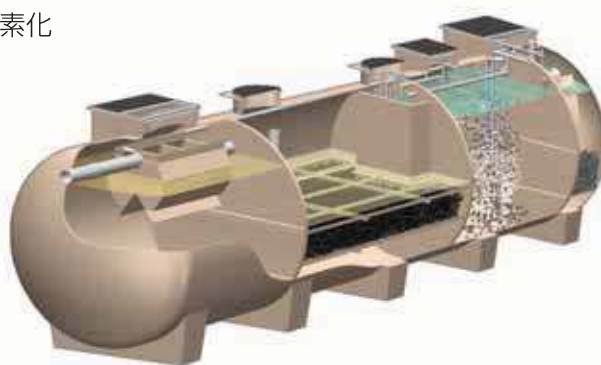
A3型のみ軽くて作業性の良いFRP角フタ(T-6用)オプション追加

仕様

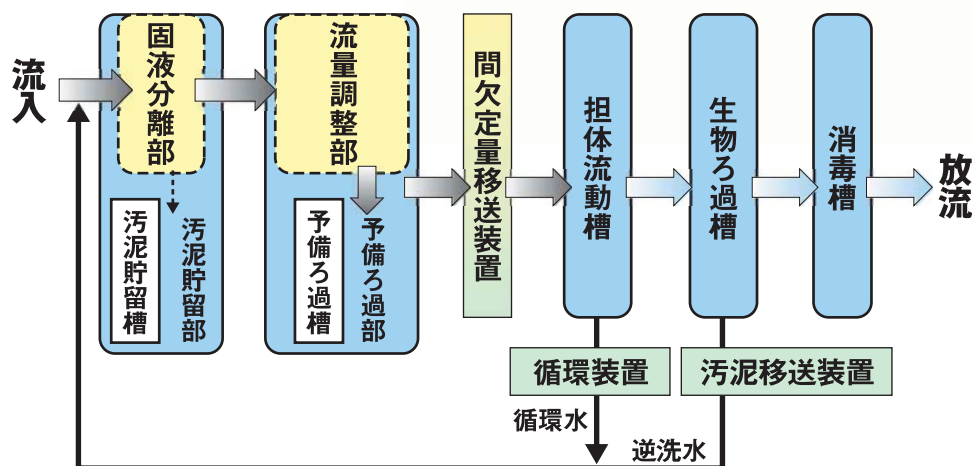
- ◎処理対象人員 (51~1500人)
- ◎処理水量 (10.2~139m³/日)
- ◎処理性能 (放流水質)

項目	日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	20mg/L以下	20mg/L以下
SS	15mg/L以下	20mg/L以下
n-hex	3mg/L以下	—

※設計条件：日平均汚水量 200L/人・日、
 流入BOD 200mg/L、排水時間 12hr



■処理フロー



- ※ 原水ポンプ槽、放流ポンプ槽(オプション)が必要となる場合があります。
- ※ 間欠定量移送装置の代わりに電動ポンプ・計量調整装置を用いる場合があります。

■代表人槽寸法表 (流入管底GL-600の場合)

対応汚水量 (m ³ /日)※2	型	L1 [mm]	L2 [mm]	L3 [mm]	L4 [mm]	L5 [mm]	L6 [mm]
10.2 (51人)	A3	3,750	—	—	—	—	—
37.0 (185人)		10,650	—	—	—	—	—
10.2 (51人)	B	3,120	3,480	—	—	—	—
53.0 (265人)		10,650	6,600	—	—	—	—
27.0 (135人)	C	2,360	4,060	4,420	—	—	—
90.0 (450人)		7,050	10,660	10,300	—	—	—
27.0 (135人)	D	2,360	4,060	2,400	2,700	—	—
90.0 (450人)		7,050	10,660	7,170	3,450	—	—
33.0 (165人)	E	2,810	2,380	2,640	2,850	2,700	—
136 (680人)		10,480	7,840	7,840	10,650	4,750	—
44.0 (220人)	F	3,630	3,620	3,620	2,580	2,700	—
139 (695人)		10,700	10,540	8,950	7,370	4,850	—
53.0 (265人)	G	4,300	3,040	3,040	2,360	2,350	2,700
139 (695人)		10,700	7,400	7,410	5,610	5,610	4,850

※設計条件 (日平均汚水量：200L/人・日、流入水BOD：200mg/L) の場合。(上段：最小、下段：最大)

※2 流入管底GL-1050 (嵩上げ300H付) の場合

記号	名称
KB	固液分離部
OT	汚泥貯留槽
YR	予備ろ過槽
TR	担体流動槽
SR	生物ろ過槽
S	消毒槽
HP	放流ポンプ槽